

經濟統計a: 第一回

担当教員 黒田敏史

2009年4月13日

經濟統計a: 第1回

今日の内容

- 教員の紹介
- ガイダンス
 - 内容
 - 目的
 - 目標
 - 経済データを利用する意義
 - 授業計画
 - 評価方法

教員の紹介

- 黒田 敏史(くろだ としふみ)

- 略歴

- 1978年2月10日生まれ
- 1996年 神奈川県立藤沢西高校卒業
- 1997年 東京理科大学理学部物理学科中退
- 1999年 京都大学経済学部入学
- 2005年 (株)情報通信総合研究所研究員
- 2007年 京都大学経済学研究科博士課程
- 2009年 東京経済大学専任講師

- 研究テーマ

- ネットワーク産業の競争政策、開発経済学

内容：目的

- 目的
 - 自然科学同様に経済学はデータによって、仮説と実際の現象とが整合的かどうかを検証可能
 - 経済学が対象としている多くの現象は実験によってデータを入手することができないため、検証を行うためには様々な統計データを用いる必要がある
 - この講義では経済学の理論を利用するための統計データの読み方や、様々な目的に応じたデータの入手方法について学ぶ

内容：目標

- データのありかを学ぶ
 - 経済データは政府・業界団体・株式会社のIR等で豊富に公表されている
- データの読み方を学ぶ
 - 昨日サイコロを10回降ったら平均が4.2だったけど、今日サイコロ10回振ったら平均が3.3だった
 - データを見るときに統計学の知識は必須
 - 日本は外需依存で円高不況？
 - 「1ドル70円台の日本経済」は面白いのでぜひ一読を
<http://news.goo.ne.jp/article/php/business/php-20090219-09.html>

内容：経済データを利用する意義

- 経済データを利用する意義
 - “The purpose of studying economics is not to acquire a set of ready-made answers to economic questions, but to learn how to avoid being deceived by economists.”
 - 人を説得するための強力な武器
 - ひょっとすると、公務員試験の時事経済とか、資料解釈に役立つかもしれない

授業計画

- テキストに準じて講義を行う
 - 谷沢弘毅著
『コア・テキスト 経済統計』(新世社)
 - 前期はテキスト1章～8章
 - 直近データの紹介も行う
 - 資料はポータルで公開
- 6章終了時点でレポート課題を出す予定
 - 講義で扱った知識でデータの入手と読み取りをしてもらう予定

授業計画

- オフィスアワー
 - 月曜13:00–14:30
 - 第二研究センター2201号室
 - 要予約としていますが、予約無しでも受け付けます
(ただし、予約がない場合は居ないかもしれません)
 - 予約は kuroda@tku.ac.jp まで連絡を

評価方法

- レポート(40%) + 試験(60%)
 - 試験は講義資料に記述されていた事についての正誤問題を予定
- 出席はとらない